

栗原専務の逃口上に 拳を固めて大聲叱咤

厚顔無恥も甚だしとて 大原會長の怒髪天を衝く 昨夜中野氏等直談判

平電氣會社に荷擔して居るのではないかと多數町民から疑惑の眼を以つて見られて居た町會議員中野甲蔵氏は此濡れ衣を晴らして自己の立場を明らかにせんと昨夜栗原専務を訪ね發電所計劃の

斷念を 迫るべく居

町を同じふせる鈴木多利吉吉田友三郎の二氏及び大原長太郎氏其他數氏に同行立會を求め午後八時半頃同會社に於て栗原氏と會見多數町民の意志に添はずして事を策せんとするは甚だ當を得たるものに非らず寧ろ會社を窮境に 陥らしむる

十五萬圓の預金手形は 當然の商行爲である

だから不思議はないと 神谷平銀主事が語る 區裁判所に同會社成立登記の手續きに便ならしめた等との噂を生んで居るが右に關して同銀行主事神谷辰五郎氏の談に依れば

預金手形 一金十五萬圓也 右金額正に預り申候に付何時にても貴殿又は此手形持參人へ相渡申可候也 大正十三年六月二日 株式會社平銀行 頭取 山崎與三郎 平電氣企業社發起人總代 栗原欣次郎氏 平銀行が空手形を出して平

氣企業社が直接に取扱つたのだから去月二日栗原氏が來りて會社成立の登記をする關係上株金完納の證據として預金手形を發行して貰へ度いとの事であつた爲め當行としては日頃の取引會社として預金の中から十五萬圓を引出し新會社名の預金手形を發行したに過ぎない

患者廿名を突破 防疫官は不眠不休の嚴戒に

石城郡磐崎村に於ける藤原炭礦の天然痘は未だに終熄期に達せず益々猛威を揮つて居る爲め郡内の人心恟々たるものがあるが昨日更らに又新患者二名續出隔離患者合計廿一名に及び平警察署から防疫に特派された警察官は連日連夜不眠不休の健闘に身心は綿の如く疲勞した爲め本日更替を爲し新手の警察官が同地に出張した

氏家氏を訪問 本縣憲政會幹事長氏家清氏昨夜來平住吉屋支店に投宿せる爲め大瀧發電所許可反對同盟會からは大原、植頭、大森、丹野、鈴木、草野、馬目、の諸氏訪問し取消運動に關して

カテイラン 友禪モスリンは縫つたまゝ洗つて差し支ひありません一單二枚分に對しラックス茶飲茶わんに一ぱい(價七錢位)を五合程の熱湯に溶かし水三升を加へた中へ一枚づゝ入れ、全體をかるく

知事に迫る 平町からも委員が出福 上京せる石城立憲青年會有志の運動奏効し比佐昌平、佐藤富十郎の兩代議士は本縣知事に大瀧發電所許可取消の至當なるを具陳しその意嚮を確む爲め昨日福島に向ふべく午後七時上野驛を出發せる報に接し平町にて水道委員會を招集協議の末 榑田榮太郎、白土四郎、星野清吉、永山和平、柏原幸次郎、鷹崎貞衛の六氏が伊坂町長と共に出

不平受付 投書歡迎 下溝の掃除 私仲間町堀江氏の貸家に三年以上も住んで居りますが道路傍の下水溝を手入れして呉れませんので甚だ不潔です。平町には掃除人夫がないのでせうか一寸伺ひます (土木委員生)

募集文藝其他一般投稿を募集します 四度(アシユウ)五度(ジュウ)といひます。それでモスリン類には三の火の度を用ゐます。

寄附金申込 累計九百圓に 其後大瀧發電所許可反對同盟會に鈴木堅助氏から五十圓中野甲蔵氏から卅圓柏原幸次郎氏から五十圓山崎福之助氏から卅圓寄附申込あり累計九百圓に達した

三丁目の總會 平町三丁目貯金組合にては本日午前十時から山本屋旅館に於て開會を開き決算を附議した

同盟會宛に 萩原會長から 左記の通信 大瀧發電所許可取消運動の爲め上京中なる石城立憲青年會萩原義雄氏から許可反對同盟會宛左の通信があつた

平町人事 死亡 鐵治町 淺井儀介(五) △細屋町 合津キセ(四)

平電氣への面當てから ヤケ半分の井戸拂へ

飲料井戸を保留せよと 長橋區民が總出の働き

水道問題が益々白熱化するに共に平全町民の腦裡には飲料水に對する注意熾烈となり若し萬一發電所設置を見るが如き事ありて泥水を飲まねばならぬ様な事態を醸さば容易ならぬ次第であるから此際飲料井戸を保存するの要ありとて埋めた井戸をも掘り起す者ある程であるが現に長橋町の如きは發電所のお餘り水などは死んでも飲めぬ夫れよりは平

涼を追ふて 石城 各濱紹介

海水浴場に 夫々準備を 四倉海水浴場、四倉驛から東へ十町人力車馬車の便がある又平町から自動車、馬車も通ふ浴場は遠淺で婦人子供にも適し近年町でも相當設備して浴客の便を圖つてゐる。附近には仁井田浦波立薬師等の奇勝もあつて交通も便で縣下一の浴場であらう宿は海氣館、柏屋、旭館、金芳外四軒あり宿料は四圓二圓、一圓八十錢 久の濱海水浴場、四倉より徒歩十數分で達し久の濱驛より僅東へ二丁眺望もよく四倉と並び稱されてゐる 旅館は五軒宿料は三圓、二圓廿錢、一圓八十錢 小名濱海水浴場、昨年あたりから東京各中學校の水泳場に當られその名を知ら

同盟會宛に 左記の通信

大瀧發電所許可取消運動の爲め上京中なる石城立憲青年會萩原義雄氏から許可反對同盟會宛左の通信があつた

謝候、一行は途中無事午後五時四十分上野着比佐代議士の出迎を受け豫定を變更して本郷區湯島天神町一の六八若水館に投宿し候同夜管村紺野兩代議士と會見委曲陳情仕候明日は議院にて本縣選出各代議士並に永井三木の諸氏にも會見の手筈にて御座候、猶本件に關しては極力目的貫徹の爲めに御座候、御報告迄 早々御禮旁々御報告迄 早々

平町人事 死亡 鐵治町 淺井儀介(五) △細屋町 合津キセ(四)